

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年4月6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670800269
法人名	医療法人 吉祥会
事業所名	グループホーム 美楽居
所在地	鹿児島県出水市平和町347番地 (電話) 0996-63-8000
自己評価作成日	平成27年3月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療法人のグループホームであり、病院・老人保健施設と同敷地内にあり、緊急時の対応、医療面で安心感を得ている。職員の教育体制も整っており毎月の施設内研修、施設向上委員会・リスクマネジメント委員会など様々な委員会を合同で立ち上げ、毎月の会議で事例の検討や予防策、集計などを話し合い全スタッフが実践できるように周知徹底を行っている。グループホームの職員もケアに対して真摯に取り組み、職員の離職も少なく10年以上勤務の職員が多い。資格取得に対しても積極的に現在80%以上の職員が介護福祉士の資格を保有している。職員間のチームワークも良くケアに対してそれぞれが活発に意見を述べ、主体的に業務を実践できている。また、ホーム内の雰囲気も明るくご家族や外部の方達からいつも笑顔で楽しそうに職員が働いているとの言葉を多くいただいている。季節ごとの行事を大切にして、昔ながらの祝日などはお赤飯やお寿司などバイキング方式で好きなものを好きなだけ食べる楽しさを味わっていただきながら、祝日を一緒に祝っている

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は医療法人グループの1つで2ユニットからなる。敷地内に同法人の介護老人保健施設や通所リハビリテーション、母体医療機関が併設されており、24時間、緊急対応の医療連携体制が整っている。災害時の相互協力関係も構築されている。
- ・利用者個々人の習慣や楽しみを把握し、その人らしい生活ができるように支援に取り組んでいる。
- ・秋祭りや文化祭など地域行事に積極的に参加し、職員と一緒に作品などを文化祭に出展している。法人の夏祭りなどの行事には、多くの地域住民の参加がある。キャラバンメイトで地域の集会や婦人会へ出向くなど地域交流を広め、介護情報の発信の場となっている。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを図り、資格取得に向けた支援も行い、職員の意見や提案を積極的に運営に反映させている。職員の定着率が高く、入職してからの資格取得者も多い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は毎日の朝礼で唱和し、毎年理念の実践に向け目標を作り実践・評価・反省を行っている	法人理念と共に、グループホームの目標を職員全員で話し合い事業所内に掲示している。朝礼で唱和し、会議などの機会に確認して、ケアに繋がるように共有と実践を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	文化祭・祭りなどへの参加・近隣のお店での買い物・外出などの交流を行っている	文化祭や祭りなど地域行事に積極的に参加している。法人全体の夏祭りなどの行事には多くの地域住民の参加がある。小・中・高校生の職場体験学習やボランティアの受け入れなども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	管理者が認知症キャラバンメイトとして地域の方へ認知症の理解を得られるように講義や働きかけを行っている。また、法人として夏祭りなどを開催し近隣の方が参加されている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に会議を開催し、地域の方の参加も得られ、入居者状況・活動報告・事故・ヒヤリハットの報告など詳細に行いアドバイスなど頂いている	会議を定期的に行っている。事業所の状況や外部評価の報告を行い、現在取り組んでいる内容についても意見を貰っている。そこでの意見で、医療や看護・介護が連携し認知症の人と共鳴していく勉強会を継続している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議には毎回市の職員御参加もあり、その他認知症サパーター養成講座など市の職員と一緒に活動や、グループホーム連絡協議会主催の勉強会等参加もお願いしている</p>	<p>市の担当者とは、情報を交換してアドバイスを貰っている。市主催の研修会にも参加し、認知症サポーター養成講座のキャラバンメイトとして出向いている。グループホーム協議会などにも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>定期的に勉強会を行い身体拘束による弊害など職員全員が理解しており、施錠を含めた目に見える拘束だけではなく、言葉による拘束、心理的拘束などしないケアを実践していると自負している</p>	<p>拘束の具体的な行為を例に定期的に勉強会を実施し、職員の共有認識を図り、身体拘束をしないケアを実践している。言葉による拘束についても日々確認し、配慮している。昼間は施錠せずに職員間の連携で見守りを行い、安全な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>毎年法人の勉強会で身体拘束や虐待について学び、身体的虐待はもちろんないが、心理的虐待がないように日々全員で勤めている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護や成年後見制度については学んではいるがまだ十分ではないためこれからの課題としている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は十分に時間を取り理解・納得できるように説明をしている。また、介護保険の改定等の時などは新たに説明を行い契約を結んでいる</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様の声・気づきメモなどの様式を作成し、頂いた声や気づいたことは記録し、全員で話し合っている。また、必要に応じて施設長にも報告し改善を図る体制作りができています</p>	<p>日頃から何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。面会や家族会時に意見を出して貰うように努め、出された意見や要望等は「気づきノート」に記録して、職員で話し合い意見を反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的な職員会議・また、毎日時間を見つけてカンファレンスを行い自由に意見を言い合える場面・雰囲気づくりをしている</p>	<p>管理者は職員と毎日カンファレンスを行い、職員の気づきや提案を聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。提案により、朝食のご飯炊きを日勤者から夜勤者に変更し、炊き立てのご飯に利用者が大いに喜んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>出来るだけ残業しない業務体制・休みの希望の尊重、研修参加への奨励・毎年の昇給・社員旅行など環境づくりに努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎年管理者が全職員と面接を行い、個人の目標の設定・評価・本人の希望など把握し、ここに 応じた研修を受けられるように支援している。スタッフも向上心があり、介護福祉士の資格取得に意欲があり、現在は取得率は80%を超えている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会を通じ合同での勉強会を年3回実践し参加率も非常に高い。また、管理者が集まり、会など開催し互いの情報交換など行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>言葉に出して言えない利用者の方も多いので、表情や動作などを見ながらゆっくりと信頼関係を築けるようにしている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ホーム側のペースで話をするのではなく、家族の方が不安や希望などゆっくりと話ができるように傾聴の姿勢を表現するようにしている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人・家族との話はもちろん、担当ケアマネジャー・前施設からの情報・主治医との連携など詳細な情報収集を行っている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>まず、ホームでも本人のペースで過ごされることを一番に考え、一緒に笑い、考えることができるようなケアをめざし実践している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	運動会や敬老会・夏祭りなど家族の参加・面会に来やすい雰囲気づくりなど家族と一緒にケアを行っていくようにしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの歯科医の受診・馴染みのお店での買い物などを支援している	友人知人の訪問があり、関係が途切れないよう働きかけている。馴染みの理美容院の利用や外食・帰宅・墓参など、家族の協力を得たりして支援している。盆や正月の外泊も家族との連携で行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	耳の遠い方には職員が間に入り会話がスムーズに行えるように。トラブルが起きそうな方たちの場合は席を離す等一人一人の関係を把握し支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	体調が悪く病院に入院となり退去された場合もお見舞いに行き、本人、ご家族が望まれる場合はできるだけ早期に戻るようになっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントを十分に行い、カンファレンス、情報収集など個別にしっかりと行っている	日々の関わりの中で様子を観察し表情や言葉などから思いや意向の把握に努めている。家族や馴染みの友人・知人からの情報も得て、入居時のアセスメントも活用して、思いや意向の把握を行っている。困難な場合は職員で話し合い本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族・担当ケアマネ・主治医から生活歴、性格・趣味・既往歴・入院歴など詳細な情報収集に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護経過記録・アセスメント・スタッフ間の情報収集等で現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	それぞれ担当スタッフを決め、担当スタッフが計画作成者とともにアセスメント、カンファレンス・ケアプランの作成を行っている	本人や家族の意向を汲み取った上で、主治医の意見を参考に介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを行い、6ヶ月毎に見直しをしている。状況が変化した時はその都度介護計画を見直ししている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日介護経過記録は記録し、その他個人票や受診記録など全職員で話し合いながら記録している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	無料での病院への付添・散髪援助等個々の要望に沿えるような援助を行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	文化祭への作品出展・文化祭見学や鶴マラソンの応援での地域の方との交流など行っている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本主治医は同敷地内の病院の医師であるが、歯科医師や泌尿器科・眼科の受診の際は往診の依頼や、受診付添、情報の提供などを支援している	本人や家族の希望を聞き、協力医療機関が主治医となっている。眼科や皮膚科などの受診は家族が支援している。歯科は訪問で対応している。緊急時の対応など連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	同敷地内の病院の看護師と提携を結び、常時相談・報告等を行っている		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	関連病院への入院やその他の病院入院の際は、病院のソーシャルワーカーの協力も得ながら情報交換や相談を行っている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化した場合の基本的な方針の説明や、終末期に対する考え方、希望など主治医も交えて話し合いを行い、文章で同意を得ている。また、重度化した場合の考えはいつでも変更があって良いことを伝えている	契約時に重度化や終末期についての対応の指針を説明している。病状の変化に伴い本人や家族の意向を確認しながら、主治医と連携して家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変時や事故発生時の対応は、事務所の壁に貼ってあり、必要に応じてシュミレーションをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の防火訓練・非常食の確保などを実践している。また、2年ほど前に市内のグループホームで隣家に火事があった大変だったとの話を聞いたので、隣家に火事があった場合の対応も事務所に貼り全員が目が届くようにしている</p>	<p>消防署の指導のもと年2回、昼・夜想定での避難訓練を実施している。隣接の母体医療機関や法人事業所との協力体制もでき、地域住民の協力も得られている。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、定期点検も行い、その他の防災設備もされている。非常時の食糧等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇教育には力を入れ声かけや表情など全職員が注意している。また、個人の意向を尊重し、プライドを大切にされたケアを心がけている	利用者の人格を尊重する言葉かけや対応に留意している。定期的に勉強会を実施し、職員の資質向上に向けて取り組んでいる。特に入浴やトイレ誘導などには羞恥心に十分配慮している。名前の呼び方は「さん」付けに統一している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴時着替えを準備する際も出来るだけ一緒に行き、着替えをどれにするか本人に決めていただく		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間ごとのトイレ誘導ではなく、本人の様子を見ながらさりげなく声かけ、散歩や外出なども本人の意思で実行している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	朝の洗面時鏡を見ながら、櫛で自分で髪を整えてもらうように援助している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	頂きます・ご馳走様の声かけを順番に行ってもらい、食器の片づけやテーブルの拭き掃除などそれぞれ能力に合わせてして利用	旬の食材で利用者の希望に添った献立や食事形態を工夫している。後片づけを職員と一緒にしたりしている。誕生会や季節の行事食・バイキング・そば打ちなど、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量の記録、それぞれに応じて食事の形態や水分のトロミ使用等個別に援助している</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後の口腔ケアはそれぞれの能力に応じて声かけや、介助をしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>時間ごとの誘導ではなく個別に表情や動作を見ながら声かけや誘導を行っている。</p>	<p>個々人の排泄パターンや習慣を把握し、合図を見逃さず自尊心に配慮しながらトイレでの排泄を支援している。また繊維質の多い食物摂取などで食生活を工夫し、自然排便を大切にしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便管理・繊維質の多いメニューの工夫・必要に応じて下剤の使用など便秘の予防と解消に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	お風呂は基本毎日準備し、その方の希望によって入れるようにしている。入浴拒否の多い人には、無理強いせずに時間や人をかけて声かけしている	日曜日以外は体調や希望に添った入浴ができるように対応している。入浴をいやがる利用者には、声かけや順番を変えるなどして柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	採光の調整・静かな環境・温度調節・人によっては湯たんぽの使用など安眠が得られるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬のファイルを保管し、全スタッフが目を通すようにしている、また、配薬の間違いないように二重にチェックしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	昔ながらの祝日はバイキング方式で好きなものを好きなだけ食べてもらえるようにご馳走を準備し、飾りつけを行い、歌や挨拶などそれぞれに主役になれるように演出している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望によって散歩したり、家族との外出を呼び掛けたり行事などへの参加など支援している	一人ひとりの希望や楽しみごとに合わせて買い物やドライブ時に自宅を見に行くなど、戸外に出かけられるよう支援している。花見や田植え・稲刈り風景の見物など外出の機会も多い。家族の協力で地域行事参加や外出・墓参・美容院・外食にも出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理は難しくなってきたが、一緒に買い物に行ったり、なじみの店に電話してきてもらったりの支援をしている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話を持っている方へ充電の確認等を行っている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内は十分な広さがあり、ゆったりと過ごせるようになっている。また、換気や採光にも配慮し快適な環境づくりを行っている。また中庭があり季節の花々が眺められるようになっている</p>	<p>共用の空間は天井が高く、採光や換気に配慮し清潔である。季節行事の写真や作品などが飾ってある。中庭の花々をながめ、開放的である。ソファも多く、居心地よく過ごせるように工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間や食堂などの空間で皆さん思い思いの場所で過ごしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>簡単な祭壇を作っている方、季節ごとの手芸品を飾っている方、自室に塗り絵を貼っている方などさまざまである</p>	<p>居室は窓も大きく開放感がある。寝具や椅子・仏壇・ラジオ・観葉植物など、本人が使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下には手すり、玄関や中庭にはスロープがあり、居室、トイレ、廊下とも十分な広さがあるので車いすでも自由に移動できる</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない